

関西における人工知能の活用、人材育成の事例

Utilization of Artificial Intelligence and its Human Resource Development in Kansai Area

鈴木 譲^{*1}

Joe Suzuki

^{*1} 大阪大学基礎工学研究科
Osaka University #1

This talk will be discussed about utilization and human resource development of artificial intelligence in Kansai area.

1. はじめに

人工知能技術を産業界でいかに活用していくか、またそのための人材をどのようにして育成していくかは、人工知能の研究とは別の次元で重要な問題である。本稿では、人工知能の研究者という視点から、それらの事例を紹介する。何かの議論のきっかけになれば幸いである。以下、2.では AI ビジネス創出アイデアコンテストについて、3.ではおよび関西地区コンソーシアムについて概要を述べ、4.でまとめを行う。

2. AI ビジネス創出アイデアコンテスト

大阪商工会議所(会頭: 尾崎裕)、および産業技術総合研究所人工知能コンソーシアム(代表: 本村陽一氏)が主催した AI ビジネス創出アイデアコンテストには、22 件の応募があつたり、大阪商工会議所会頭賞(賞金100万円)には、ファッションポケット(株)重松路威氏の「人工知能を用いた女性向けアパレルトレンド発信とEコマース」が、人工知能技術コンソーシアム会長賞には、アイリス(株)沖山翔 氏の「咽喉頭画像の深層学習による診断機器開発」が選ばれた。

2017 年 11 月 17 日	募集開始
2017 年 11 月 29 日	応募説明会
2017 年 12 月 11, 18 日	事前相談(サロン)
2018 年 1 月 16 日	募集締切
2018 年 1 月 17-24 日	書類審査
2018 年 2 月 2 日	事前トレーニング
2018 年 2 月 16 日	公開プレゼンテーション (最終審査)



審査基準

実現性	既存ビジネスと差別化できており、明確かつ現実的な内容であること
収益性	将来的に収益の見込める内容であること
ユーザ視点	ユーザの価値創造が明確な内容であること
社会性	社会課題の解決に向けた内容であること

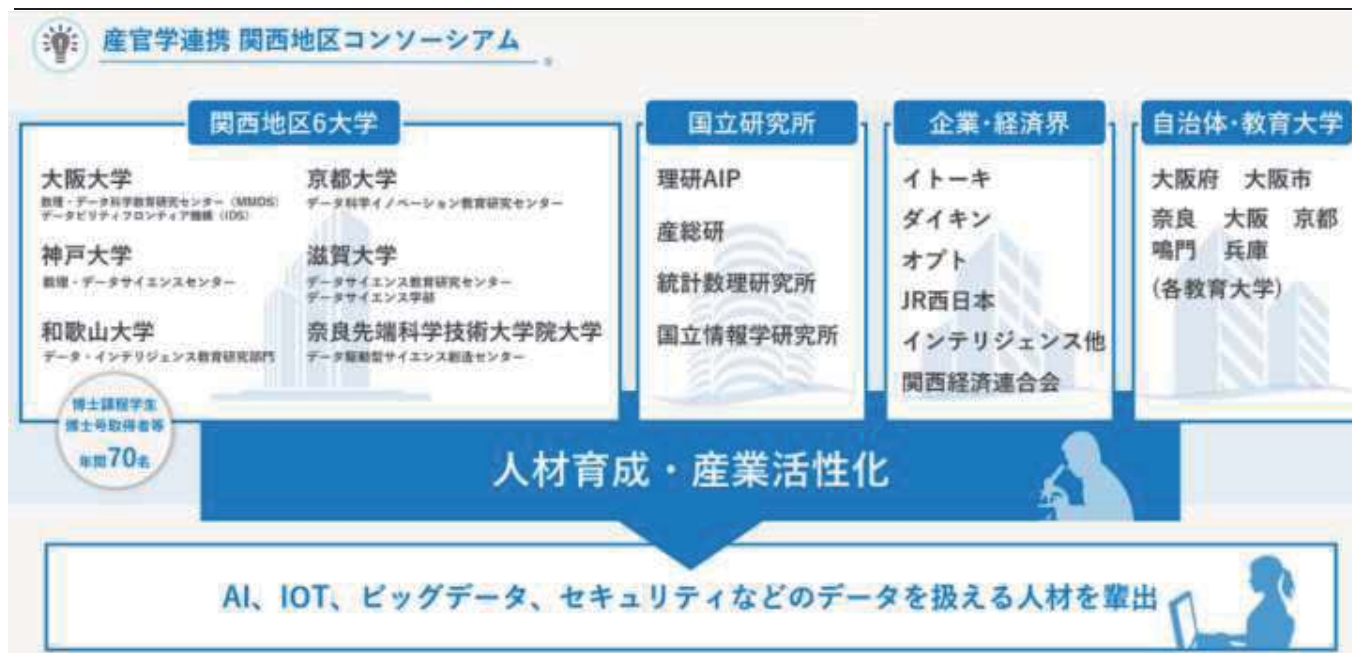
筆者は、コンテストの審査員という立場で参加した。コンテスト応募者に人工知能学会の専門家は皆無であったが、アイデアには工夫がなされていた。同じ人工知能でも、研究者であれば固有技術の改良をメインのテーマとするところを、応募者はビジネスという観点からサービスを提案していた。

3. 産管学連携 関西地区コンソーシアム

データ関連人材の育成・確保のために文科省が開始したデータ関連人材育成プログラムの一環で、2017 年 10 月から大阪大学を幹事校(6 国立大学)として運営が行われている(写真は、キックオフミーティングのときのもの)。



連絡先 : 鈴木 譲 j-suzuki@sigmath.es.osaka-u.ac.jp



文科省の本プログラムは、関西地区コンソーシアムを含めて 4 拠点が採択されているが、いずれも以下の基本方針に基づいている。

- 博士課程学生・博士号取得者等の高度人材に対して、データサイエンス等のスキルを習得させる研修プログラムを実施することにより、我が国社会で求められるデータ関連人材を育成し、社会の多様な場での活躍を促進。
- 研修プログラムの開発・実施を行う育成機関が、データ関連人材の雇用を希望する企業、大学等とコンソーシアムを形成し、博士課程学生・博士号取得者等に対して、インターンシップ・PBL 等による研修プログラムを開発・実施することで、各々の専門性を有しながら、データサイエンス等のスキルを習得させるとともに、キャリア開発の支援を実施

関西地区コンソーシアムでは、A: データサイエンス「基礎コース」、B: データサイエンス「実践コース」、C: 医療データ「基礎実践コース」の3コースにわけてプロジェクトをすすめている。

筆者は、このうち A コースに参画していて、e-ラーニングコンテンツの開発(右上が e-ラーニング開発ソフト Camtasia Studio の画面)、セミナーの開催などを行っている(右上のポスターは、3月26日-27日のセミナーのもの。各日200名以上が参加を予定している)。

4. むすびにかえて

以上、ビジネス創出コンテスト、およびデータ関連人材育成関西地区コンソーシアムの概要を紹介した。

大学の教員は、普段は自分の大学の学生にしか教えていないが、いざ社会人や他大学・他専門の学生を教える段階になると、データサイエンスでは、特に社会人であらためて勉強したいというニーズが高い。セミナーだけでは対応できないので、e-ラーニングでクオリティの高いものを用意して、ある程度のレベルまで達するようにさせる必要があると思われる。

また、データサイエンスの業務経験はないが、数理能力などが卓越していて、再教育次第で活躍する可能性のある社会人も多くいるものと思われる。そのような意味で、データ関連人材育

成の事業が成功し、大学の社会への貢献をアピールできたらと思ひ、意気込んでいる。

謝辞: 発表の機会をいただいた大阪大学数理・データ科学教育研究センター特任教授鈴木貴氏、産業技術総合研究所本村陽一氏に感謝します。



MMDS 大阪大学 数理・データ科学教育研究センター
 機械学習・統計学 スプリングキャンプ (2日目)
スパース推定法による統計モデリング
 日時: 2018年3月27日(火) 10:00-18:00
 場所: 大阪大学中之島センター 703 会議室
 対象: 学生・非研究者(研究者でも楽しめる)
 参加申込み: 会費無料、定員200名
<http://spring2018.bayesnet.org/>
 2018年3月に共立出版から発行される書籍
 その著者3氏がスパース推定をわかりやすく解説

講師: 川村一也 (大阪大学), 田村雄一 (大阪大学), 松本大輔 (大阪大学)

書籍: スパース推定法による統計モデリング (共立出版)

お問い合わせ: 実行委員長 鈴木 健 (大阪大学)
spring2018@bayesnet.org

MMDS 大阪大学 数理・データ科学教育研究センター
 機械学習・統計学 スプリングキャンプ (1日目)
機械学習の数理 with R 言語
 日時: 2018年3月26日(月) 10:00-18:00
 場所: 大阪大学中之島センター 703 会議室
 対象: 学生・若手(大学院進学を希望されている方は特に歓迎)
 参加申し込み (会費: 無料、定員100名) は下記サイトより行ってください
<http://spring2018.bayesnet.org/>
 阪大 高理工 数理科学コース3年の講義と演習を再現
 7口のデータサイエンスでも楽しめる

講師: 鈴木 健 (大阪大学), 田村雄一 (大阪大学), 松本大輔 (大阪大学)

書籍: 機械学習の数理 with R 言語 (共立出版)

お問い合わせ: 実行委員長 鈴木 健 (大阪大学)
spring2018@bayesnet.org